

③減災に向けた更なる取組の推進

関係機関が連携した水害に対する事前準備のための取組 (多機関連携型タイムラインの策定・運用)

○事前準備のための取組として、多機関連携型タイムラインの策定・運用を進めていきます。

取組内容

➤ 多様な防災行動を対象として、関係自治体に加え鉄道事業者やメディア関連等、多様な機関と連携したタイムラインの策定を進めていきます。

タイムライン ステージ	行動目標	トリガーとなる 洪水予報・気象状況	警戒レベル	市町村の対応	洪水予報	気象情報 (参考)
5	緊急対応	氾濫発生情報	警戒レベル5	災害発生情報 ※可能な範囲で発令	災害発生情報	大雨特別警戒
4	避難徹底	氾濫危険水位超過 氾濫危険情報発令	警戒レベル4 (全員避難)	避難指示(緊急) ※緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令 避難勧告 第4次防災体制(災害対策本部設置)	氾濫危険情報	土砂災害警戒 情報
3	早期避難	避難判断水位超過 氾濫警戒情報発令	警戒レベル3 (高齢者等 は避難)	避難準備・高齢者等避難開始 第3次防災体制 (避難勧告の発令を判断できる体制)	氾濫警戒情報	大雨警戒 洪水警戒
2	体制確立	氾濫注意水位超過 氾濫注意情報発令	警戒レベル2	第2次防災体制 (避難準備・高齢者等避難開始の発令を判断 できる体制) 第1次防災体制(連絡要員を配置)	氾濫注意情報	洪水注意報 大雨注意報
1-2	地域調整	水防団待機水位超過	警戒レベル1	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	-	早期注意情報 (警戒級の可能性)
1-1	内部調整 機関調整	台風接近3日前 (多摩川流域への影響の恐れ)				
0-2	情報収集	台風発生				
0-1	平常時 業務体制		-	-	-	-

STEP 1

**多摩川タイムライン
基本組織**

- 水防管理団体(大田区、世田谷区、品川区、
狛江市、調布市、府中市、多摩市、国立市、立川市、
昭島市、日野市、八王子市、福生市、羽村市、
あきる野市、青梅市、川崎市、横浜市鶴見区)
- 東京都、神奈川県
- 気象庁(東京管区気象台、横浜地方気象台)
- 京浜河川事務所

STEP 2

**水防・減災活動等に
関わる機関**

- 消防庁、水防団

**避難行動等に
関わる機関**

- 高速道路管理者、鉄道管理者
- バス協会、タクシー協会
- 福祉施設管理者、福祉協議会 等

**防災情報提供等に
関わる機関**

- メディア関連(ケーブルテレビ、ラジオ等)

**氾濫発生後の被害
軽減に関わる機関**

- ライフライン関連(電気、ガス、水道、電話)
- 建設業界(復旧等に関わる協会会社等)

段階的に連携機関の追加を検討



タイムライン策定検討会及びワーキングを実施